

世界貿易投資動向シリーズ

ペルー

2022年9月5日
海外調査部・リマ事務所

2021年のペルーの貿易は、国内外の需要の増加により輸出入ともに前年比で増加した。特に輸出では銅鉱を中心とした伝統輸出品が牽引役となり貿易黒字幅が拡大した。対内直接投資も同様に前年比で大幅な回復をみせ、前年停滞していた鉱業、サービス業、炭化水素分野を中心にV字回復を記録した。対日貿易では、鉱物資源の輸出が拡大し、輸入では国内の経済活動再活性化による内需に後押しされ、商用車や乗用車を中心に輸入が拡大した。

■需要の回復で貿易黒字幅が拡大

2021年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比39.8%増の573億3,700万ドル、輸入は39.0%増の510億8,300万ドルとなった。貿易収支は62億5,400万ドルの黒字となり、前年から46.5%増と大きく拡大した。相手国別では、輸出入のいずれも8年連続で中国が首位を維持した（輸出構成比32.2%、輸入構成比28.6%）。輸出では2位は米国（12.6%）、3位は韓国（5.0%）だった。輸入では米国が2位（18.5%）、ブラジルが3位（6.7%）となった。

輸出を品目別にみると、銅（構成比31.7%）、金（13.7%）、亜鉛（3.9%）や鉛（3.4%）などの鉱物資源のほか、魚粉（3.2%）、天然ガス（3.0%）、石油派生製品（2.9%）などの伝統産品が全体の71.1%を占めた。伝統産品は前年比43.6%増と回復している。銅と金の増加は特にアンタミナ銅鉱山、セロ・

ベルデ銅鉱山、アウリフェラ・レタマス金鉱山、ミネラ・ポデロサ金鉱山やアレス金鉱山などにおける増産のほか、中国などの銅需要拡大に伴う銅の国際価格の高騰（ロンドン金属取引所の年平均価格では前年比50.8%増）が背景にある。また魚粉の輸出増（65.1%増）は原料の加工用カタクチイワシの2021年の年間漁獲量が前年比19.7%増の520万トンに上ったことに下支えされている。全体の28.6%を占める非伝統産品も前年に続き農産品・加工食品（構成比13.9%）が牽引役となり、31.0%増を記録した。その中でも特に生鮮ブドウ、生鮮ブルーベリー、生鮮・乾燥アボカドはそれぞれ21.8%、25.1%、42.2%増となった。これら生鮮ブドウなどは主に米国（当該品目全体の36.4%）とオランダ（22.4%）向けに出荷された。国連の国際貿易センター（ITC）によると、ペルーは2021年、生鮮ブド

表1 ペルーの主要国・地域別輸出入<通関ベース>
(単位: 100万ドル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2020年	2021年			2020年	2021年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
北米	9,060	10,564	18.4	16.6	9,061	12,319	24.1	36.0
米国	6,190	7,249	12.6	17.1	6,741	9,460	18.5	40.3
カナダ	2,449	2,752	4.8	12.4	809	981	1.9	21.3
メキシコ	421	563	1.0	33.6	1,511	1,878	3.7	24.3
EU28	5,503	8,198	14.3	49.0	4,079	4,910	9.6	20.4
オランダ	1,379	1,906	3.3	38.3	169	239	0.5	41.6
スペイン	1,083	1,510	2.6	39.4	677	862	1.7	27.4
英国	422	1,318	2.3	212.3	189	236	0.5	24.8
ドイツ	902	1,172	2.0	30.0	1,070	1,187	2.3	10.9
スイス	1,381	1,935	3.4	40.1	135	133	0.3	△ 1.8
アンデス共同体	1,839	2,517	4.4	36.9	1,956	2,806	5.5	43.4
エクアドル	641	937	1.6	46.1	450	687	1.3	52.7
コロンビア	661	872	1.5	31.9	979	1,194	2.3	21.9
ボリビア	537	708	1.2	31.9	528	925	1.8	75.3
チリ	1,111	1,729	3.0	55.6	1,082	1,318	2.6	21.9
メルコスール	925	1,299	2.3	40.4	4,050	6,093	11.9	50.4
ブラジル	793	1,085	1.9	36.8	2,125	3,431	6.7	61.5
アルゼンチン	104	165	0.3	59.6	1,667	2,314	4.5	38.8
その他	21,189	31,095	54.2	46.8	16,376	23,504	46.0	43.5
中国	12,302	18,452	32.2	50.0	10,526	14,612	28.6	38.8
韓国	2,381	2,870	5.0	20.5	651	972	1.9	49.3
日本	2,010	2,826	4.9	40.6	725	1,024	2.0	41.2
インド	1,159	2,510	4.4	116.6	825	1,111	2.2	34.7
合計	41,008	57,337	100.0	39.8	36,739	51,083	100.0	39.0

〔注〕①ペルーの統計上、英国は引き続きEUに含まれているためEU28とする。
②アンデス共同体：ボリビア、コロンビア、エクアドル、ペルー
③メルコスール：ブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ、パラグアイ、ベネズエラ
〔出所〕国家税務監督庁（SUNAT）

ウと生鮮ブルーベリーの世界1位、生鮮アボカドの世界3位の輸出国だった。輸出で最大の伸び率を記録したのは過去2年続けて減少していた繊維製品で、2021年は米国（当該品目全体の3.7%）向けのOEM製品が66.2%増となった。

輸入は、2020年の減少から一転して、国内での生産活動の再開による中間財需要の増加、輸入価格の高騰、消費需要の回復などにより増加した。特に燃料は国際価格の高騰を受け、前年比96.0%増を記録したほか、鉱業分野向けの中間財は55.1%増加した。また資本財ではアルゼンチンからのピックアップトラックなどを中心に輸送機器が61.9%増加した。23.2%増となった消費財は、インド（当該品目全体の17.2%）からの医薬品のほか、乗用車やテレビなどの耐久消費財（44.5%増）が増加した。また、中国からの携帯電話（同国からの輸入の6.9%）とパソコン（同6.0%）がそれぞれ前年比34.5%、34.6%増加したほか、米国からはB5混合軽油¹（13.0%）が金額（12億4,200万ドル、2.3倍）、数量（189万トン、60.9%増）ともに増加した。

■対内直接投資額は前年の10倍を記録

2021年の対内直接投資（国際収支ベース）は、2月以降の新型コロナウイルスのワクチン接種促進に伴う、感染者数や死者数の減少と経済活動の回復により、前年比10.2倍の74億5,500万ドルを記録した。最大の資本投下先は鉱業分野で、36億9,600万ドルだった（国内投資を含めた鉱業分野の投資額は、エネルギー鉱山省によると52億4,200万ドルに上る）。また、サービス（非金融）分野に20億5,200万ドル、炭化水素分野に10億1,000万ドルの投資があった。これらは主にパンデミックの影響により前年から延期されていた投資の実行に加えて、住居やインフラ建設の活性化によるものが大きい。しかし第4四半期以降は急進左派政権の発足による政治不安の影響による先行きの不透明感から、企業の投資意欲は減退していった。

主な投資案件としては、前年に続き三菱商事とアングロ・アメリカンのケジャベコ銅鉱山計画がペルー最大の13億1,200万ドルの投資案件となっている（ペルーでは投資案

表2 ペルーの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位: 100万ドル、%)

	2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額 (FOB)	41,008	57,337	100.0	39.8
伝統産品	28,373	40,739	71.1	43.6
銅 (地金・精鉱)	12,941	18,167	31.7	40.4
金	6,643	7,837	13.7	18.0
亜鉛 (地金・精鉱)	1,659	2,229	3.9	34.3
鉛 (地金・精鉱)	1,396	1,940	3.4	38.9
魚粉	1,094	1,807	3.2	65.1
天然ガス	568	1,703	3.0	199.7
石油派生製品	855	1,691	2.9	97.7
コーヒー	638	766	1.3	20.1
魚油	336	533	0.9	58.3
非伝統産品	12,529	16,417	28.6	31.0
農産品・加工食品	6,641	7,955	13.9	19.8
果実	3,972	4,811	8.4	21.1
生鮮ブドウ	1,031	1,256	2.2	21.8
生鮮ブルーベリー	964	1,206	2.1	25.1
生鮮・乾燥アボカド	738	1,049	1.8	42.2
野菜	1,191	1,262	2.2	6.0
生鮮アスパラガス	381	404	0.7	6.2
化学品	1,460	1,996	3.5	36.7
繊維製品	992	1,648	2.9	66.2
水産品	1,304	1,523	2.7	16.8
冷凍赤イカ (ボタ)	407	427	0.7	4.8
調製し又は保存に適する処理をしたイカ	182	159	0.3	△ 12.7
金属製品	834	1,497	2.6	79.6
銅線	174	343	0.6	96.7
含有量が全重量の99.99%未満の亜鉛	178	279	0.5	57.0
非鉄金属	441	676	1.2	53.3
機械	457	567	1.0	24.1
木材・紙	235	281	0.5	19.9
その他	107	182	0.3	69.7
輸入総額 (CIF)	36,739	51,083	100.0	39.0
原材料・中間財	16,252	24,899	48.7	53.2
工業用	11,322	16,366	32.0	44.6
燃料・潤滑油	3,260	6,391	12.5	96.0
農業用	1,670	2,142	4.2	28.3
資本財	11,570	15,182	29.7	31.2
工業用	7,982	9,529	18.7	19.4
輸送機器	2,202	3,566	7.0	61.9
建築資材	1,225	1,883	3.7	53.7
農業用	161	203	0.4	26.6
消費財	8,906	10,973	21.5	23.2
非耐久消費財	5,644	6,261	12.3	10.9
耐久消費財	3,262	4,712	9.2	44.5
その他	11	29	0.1	174.7

[出所] 国家税務監督庁 (SUNAT) および輸出業協会

表3 ペルーの業種別対内直接投資
<国際収支ベース、ネット・フロー>

(単位: 100万ドル、%)

	2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率
炭化水素	△ 28	1,010	13.5	-
鉱業	1,293	3,696	49.6	185.8
金融	79	112	1.5	41.8
サービス (非金融)	△ 1,027	2,052	27.5	-
製造業	146	127	1.7	△ 13.0
エネルギー・その他	270	458	6.1	69.6
合計	732	7,455	100.0	918.4

[出所] ペルー中央準備銀行

¹ 軽油に5%以下のバイオディーゼル燃料を混合した燃料。

件登録は任意だが、中央準備銀行は同計画の投資額が最大としている)。同プロジェクトでは、2022年7月より鉱石処理プラントでの銅鉱のテスト生産を開始している。同じく三菱商事が参加するペルー北東部のアンタミナ銅鉱山も前年比51.1%増の4億8,145万ドルの投資を行った。

表4 ペルーの対内直接投資案件

(単位: 100万ドル)

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
鉱業	アングロ・アメリカン、ペルー三菱商事会社	英国 / 日本	2021年12月	1,312	ケジャベコ銅鉱山の建設投資は、2021年の国内全鉱業投資の25%を占める。同鉱山は2022年に16万トン、2023年には37万トンの銅鉱生産量を見込んでいる。
鉱業	アンタミナ鉱山会社	英国 / オーストラリア / スイス / カナダ / 日本	2021年12月	481	2021年の国内鉱山投資の9.2%を占める2番目に重要な案件。投資は、主にウィンクシュ鉱山が対象。
エネルギー	イドロ・グローバル・ペルー	ポルトガル / 中国	2021年12月	438	プーノ州における発電能力205.8メガワットの水力発電サン・ガバン III プロジェクトへの投資。
インフラ	メトロリマ2号線コンセッションエア	イタリア / スペイン / ペルー	2021年12月	337	メトロリマ第2号線プロジェクト。全長27キロ(リマ国際空港までのアネックスを含めると35キロ)で27駅を予定しており、2021年末で全体の41.04%の進捗状況にある。
通信	テレフォニカ・グループ	スペイン	2021年12月	288	2021年のテレフォニカ・グループの投資は、通信分野の全投資の33.3%を占める。同社の投資額は、前年比57.2%増加。
エネルギー	シュゲーズ	中国	2021年12月	288	発電の拡大を目指し、イカ州で集合型風力発電所を建設中。
インフラ	コピソル	エクアドル / ペルー	2021年12月	209	コピソルはトゥルヒージョとスジャナ間を結ぶ475キロ、25年間(2009年より)にわたる道路建設コンセッション契約を受注。2021年末時点で、86.60%の進捗状況。
製造業	オーエンス・イリノイ	米国	2021年11月	120	ガラス容器製造メーカー。首都リマ南部のルリン地区の工場に3つの新規生産ラインを建設し、ベジャピスタ地区(カジャオ憲法特別県)にある現工場をルリン地区へ移転することで25%の生産拡大を見込んでいる。
建設業	イーテックス	ベルギー	2021年11月	60	建設資材の企業。国内の3つの工場における様々なカテゴリーの資材の生産拡大を見込んでいる投資。
製造業	ネスレペルー・ボリビア	スイス	2021年12月	200 (注②)	首都リマのアテ地区にある物流センターの拡大およびアイスクリーム製造の新設備、パネトン(菓子パン)生産の新規ラインにかかる2021年4月から2022年第1四半期までの投資。

[注] ①時期は発表または報道された月
 ②単位: 100万ソル
 [出所] 各社発表および報道などから作成

■鉱物資源の対日輸出拡大

2021年の対日往復貿易額はパンデミックにより大きく後退した前年に比べ52.2%増の39億5,800万ドルを記録して、コロナ禍以前の水準に回復した。対日輸出は56.5%増の29億3,300万ドルに上った。品目別では住友金属鉱山と住友商事が参加するセロ・ベルデ銅鉱山の鉱物資源や、ペルーLNG、プラスペトル(PLUSPETROL)が取り扱う炭化水素資源(軽油や天然ガス)を中心とした伝統産品輸出が61.4%増の27億4,500万ドルを記録した。非伝統産品では三井食品が輸入するミカンが前年の6倍の600万ドルと伸ばしたほか、冷凍マスのフィレやとびこなどの水産品もそれぞれ81.8%増、27.3%増と拡大した。さらに北部ピウラ州で操業するマルハニチログループのサカナ・デル・ペルーも、赤イカ(ペルー名:ポタ)を前年の3.6倍の40万ドル、アナゴを6.6倍の200万ドル輸出している。

対日輸入は、経済活動再活性化による内需に後押しされ商用車や乗用車を中心に前年比41.1%増の10億2,500万ドルを記録した。自動車の輸入統計をメーカー別にみると、ペルーで最大のシェアを持つトヨタが37.4%増(1億2,400万ドル)を記録した。次いでGMによるいすゞ自動車が86.4%増(6,300万ドル)、デルコ(DERCO)によるマツダ自動車が31.5%増(4,900万ドル)、三菱自動車が66.3%増(4,500万ドル)と上位を占めた。さらに鉱山活動再開によりブリヂストンによるタイヤの輸入も増加し、33.4%増を記録、パンデミック以前の水準に戻った。なお、輸入ビジネス全般ではパンデミックで高騰を続ける海運費用に加え、ドル高、インフレなどが共通課題として各社ビジネスに大きく影響を及ぼしている。

表5 ペルーの対日主要品目別輸出入 <通関ベース>
(単位:100万ドル、%)

	2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額 (FOB)	1,874	2,933	100.0	56.5
伝統産品	1,701	2,745	93.6	61.4
銅 (地金・精鉱)	1,140	1,262	43.0	10.7
亜鉛 (地金・精鉱)	119	189	6.4	58.8
鉄 (地金・精鉱)	50	119	4.1	138.0
錫 (地金・精鉱)	36	82	2.8	127.8
鉛 (地金・精鉱)	23	7	0.2	△ 69.6
天然ガス	107	204	7.0	90.7
原油・同派生製品	120	758	25.8	531.7
魚粉	65	71	2.4	9.2
魚油	11	14	0.5	27.3
コーヒー	14	12	0.4	△ 14.3
非伝統産品	173	188	6.4	8.7
農産品・加工食品	75	87	3.0	16.0
果実	43	55	1.9	27.9
生鮮アボカド	20	25	0.9	25.0
冷凍フルーツ	8	7	0.2	△ 12.5
ミカン	1	6	0.2	500.0
生鮮バナナ	4	5	0.2	25.0
冷凍マンゴー	5	5	0.2	0.0
生鮮マンゴー	2	3	0.1	50.0
野菜	17	19	0.6	11.8
冷凍アスパラガス	13	16	0.5	23.1
アスパラガス加工品	2	1	0.0	△ 50.0
その他の野菜	1	1	0.0	0.0
水産品	74	74	2.5	0.0
冷凍赤イカ (ボタ)	21	20	0.7	△ 4.8
冷凍マスのフィレ	11	20	0.7	81.8
とびこ	11	14	0.5	27.3
冷凍エビ (無頭)	6	6	0.2	0.0
亜鉛 (合金を除く)	7	8	0.3	14.3
衣類	9	9	0.3	0.0
化学品	2	3	0.1	50.0
植物性・動物性着色料	1	2	0.1	100.0
繊維	1	2	0.1	100.0

輸入総額 (CIF)	726	1,025	100	41.1
自動車および同部品	241	336	32.8	39.7
商用車・トラック	80	141	13.7	75.2
乗用車	111	134	13.1	20.5
バス (10人以上乗り)	20	24	2.3	18.7
機械類および同部品	152	210	20.5	38.0
ショベルカー	12	35	3.4	189.4
印刷機・プリンター・複写機	21	21	2	△ 2.0
ブルドーザー・地ならし機	12	10	1	△ 16.1
電気製品および同部品	19	24	2.4	31.7
デジタルカメラ・ビデオカメラ	2	3	0.3	54.2
電動機及び発電機	2	2	0.2	45.3
電話機器	2	2	0.2	△ 3.4
その他機械類	26	25	2.4	△ 5.6
化学分析用機器	7	10	0.9	42.6
X線機器	11	7	0.7	△ 34.3
化学品	126	173	16.9	37.0
タイヤ (新品に限る)	79	112	10.9	40.8
鉄鋼・鉄鋼製品	101	109	10.6	8.1
鉄フラットロール (めっきしたもの)	40	45	4.4	13.3
セメント (クリンカー)	2	15	1.5	538.4
その他	59	132	12.9	124.8

〔出所〕 輸出入協会 (ADEX) の通関統計を基に作成

主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口: 3,304万人 (2021年)			
②面積: 128万5,216km ²			
③1人当たりGDP: 6,643米ドル (2021年)			
④実質GDP成長率 (%)	2.2	△ 11.0	13.3
⑤消費者物価上昇率 (%)	1.9	2.0	6.4
⑥失業率 (%)	3.9	7.4	5.7
⑦貿易収支 (100万米ドル)	4,059	4,270	6,254
⑧経常収支 (100万米ドル)	△ 2,397	1,547	△ 6,148
⑨外貨準備高 (100万米ドル)	66,014	72,671	-
⑩対外債務残高 (100万米ドル)	80,146	88,566	100,989
⑪為替レート (1米ドルにつき、ソル、期中平均)	3.34	3.49	3.88

〔注〕 ③: 推計値、⑥: 全国都市部の失業率
〔出所〕 ①②: ペルー情報統計院 (INEI)、③⑨⑪: IMF、④⑤⑧⑩: ペルー中央銀行「Nota Semanal」、⑥ペルー中央銀行「Memoria Anual」、⑦国家税務監督庁 (SUNAT)

(お問い合わせ先)

海外調査部 米州課

ORB-latin@jetro.go.jp